



サティヤ サイ インターナショナル オーガニゼーション

Happiness

幸福とは神と一つになること

スタディーガイド 2

幸福はどこにあるのか？

BIRTHDAY *Celebration* 2020

DEDICATED

WITH LOVE AND REVERENCE AT THE DIVINE LOTUS FEET OF

Bhagawan Sri Sathya Sai Baba

THE EMBODIMENT OF DIVINE BLISS

愛と崇敬を込めて、神の至福の化身である
バガヴァン シュリ サティヤ サイ ババ様の
蓮華の御足に捧げます



このスタディーガイドは、バガヴァンシュリサティヤサイババ様の幸福に関する御教えをまとめた全6回シリーズの第2回目です。

各スタディーガイドには、インスピレーションをもたらす物語、御講話や著書からの引用、内省のための質問が含まれています

幸福は富の中にあるのか、それとも神の存在の中にあるのか？

楽聖ティヤーガラージャはあらゆる場所で主ラーマを探し求めましたが、最終的には、いつも自分とともにいる主を探し求める必要はないのだと悟りました。

タンジャーヴールの王は、ティヤーガラージャを宮廷に招き、彼が作曲した曲を演奏してもらいました。宮廷に多くの著名人がいることに気付いたティヤーガラージャは、とても謙虚になり、「多くの偉大な魂たちがいます。私は彼ら全員の前で平伏いたします」という歌でコンサートを始めました。彼の甘い歌声に、集まった聴衆全員が魅了されました。

お礼として、王は彼にいくらかのお金を差し出しました。これを見たティヤーガラージャは「おお、心よ！お金の中に幸せがあるのか、それとも神の近くにいることの中に幸せがあるのか、私に教えてください」と自問自答しました。熟考の後、彼は王から提示されたお金を受け取らずに断りました。王はティヤーガラージャに敬意を払い、駕籠に乗せて村まで送り届けました。

王の駕籠に乗っているティヤーガラージャを見た何人かの泥棒たちは、たくさんのお金を一緒に運んでいるに違いないと思い、後を追いかけてきました。泥棒が追ってくるのに気付いた駕籠かきたちは、ティヤーガラージャに「彼らは私たちが殺すかもしれません」と言いました。



ティヤーガラージャは「なぜ恐れる必要があるのですか？あなた方は恐れを引き起こす原因であるお金を持っていません。お金を所有する人だけが恐れを抱くのです。美德という富だけを持っている人が、なぜ泥棒を恐れなければならないのですか？あなた方が持っているのは美德だけで、お金ではありません。ですから恐れる必要はないのです。」と言いました。

しばらくすると、ティヤーガラージャのもとへ泥棒たちが走って来て、足元にひれ伏すと、「どうぞ私たちを守ってください。守ってください」と祈りました。

ティヤーガラージャは彼らに「私は誰からあなた方を救うべきなのですか？なぜあなた方は私に助けるよう頼むのですか？どんな災難があなた方に降りかかっているのですか？」と尋ねました。

彼らは、弓と矢で武装した二人の青年が、彼らを罰すると脅していると、ティヤーガラージャに告げました。

これを聞いたティヤーガラージャは、これまで自分はラーマを探してあちこちに行っていたが、ラーマは常に自分と共にいたのだ、ということに気付きました。彼はラーマを讃えてこの唄を歌いました。「おお、ラーマ！あなたは私の前に、私の後ろに、私の両側におられます！」この体験を与えることによって、ラーマは彼に神が遍在であることを悟らせたのです。

1996年7月4日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume29/d960704.pdf>



スタディーガイド

幸福はどこにあるのか？

「幸福はどこにあるのか？」という質問に対する回答は、「幸福とは神と一つになること」です。学生たちは、世俗的な快樂を追求する中で、このことを忘れがちです。経験の成熟によって初めて、この悟りを得ることができます。例えば、夏に荒れた野原を目にするとします。前夜の雨の後、草が生え出します。草はどこから来たのでしょうか？それは野原から来たのです。土中の種という形で存在していたものが、雨の後に芽生えたのです。同様に、神の愛という雨が、干上がったあなたのハートに水を与えると、あなたの中にある至福が芽生えるでしょう。

1996年1月18日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume29/sss29-04.pdf>

どこか他の場所で幸せを探す必要はありません。幸せは絶えずあなたと共に、あなたの内にあります。あなたが幸せを実感することができないのは、幸せの真の意味が理解できていないからです。あなたは、幸せはお金や、豊かさや、物質的な快適さにあるという幻想を抱いています。ひとたび真の幸せを味わえば、あなたはこの世的(物質的)な所有物を欲しがらなくなるでしょう。真の幸せは人のハートの深い所から沸き上がって来ます。

2005年1月14日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume38/sss38-01.pdf>

幸福はどこにあるのでしょうか？幸福とは神と一つになることです。神のことを考えない人々の顔を見てごらんください。彼らは、映画に出て来るような人工的な笑顔をまもっているかもしれませんが、実際には、ひまし油のような暗くて鈍い顔をしています。

1996年6月21日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume29/d960621.pdf>

世俗的な物事を追求することの中に、永続する幸福はあるのでしょうか？まったくありません。(スワミは、若さ、富、子孫はすべて儚いものであるという点を強調するために、バジャ ゴーヴィンダムの一節を歌いました。)人生の後半に入り、家族生活のすべてを経験した後、晩年になっても、人は己を惑わせる幸福を追い求めます。どこで幸福が見つかるのでしょうか？その答えは、ティヤーガラージャによってもたらされました。彼は、幸福は富によって得られるものではなく、シュリ ラーマの礼拝を通じて初めて得られる、と歌ったのです。

1996年8月16日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume29/sss29-33.pdf>

あなたの中には、アートマの光(アートマ ジョーティ)の姿をした至高の光(パラム ジョーティ)があるのです。それは非二元的な永遠の光です。それは不滅の光です。それは真我の光です。自分自身の中にその光があるのですから、なぜ他の何かを恐れる必要があるのですか？幸せでありなさい。幸せはどこにありますか？どうやってそれを経験するのですか？神と一つになることが幸福です。

1999年4月26日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume32/sss32p1-11.pdf>

幸福を発見する

『バガヴァッド ギーター』は、「この世界は東の間であり『涙の谷間』『憂うき世』である、この世に執着しても永続する平安と至福は見出せない」と、明確に宣言しています。永続する平安と幸福の源は私たちの中にあります。それはアートマ(神我)です。アートマを悟ることによって、平安と至福を確実に手に入れなければなりません。

1987年3月30日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume20/ss20-06.pdf>

もし、所有物が本当に幸福の源であるのなら、どうして体は病に苦しまなければならないのでしょうか？人は自分に幸福を与えられないものに執着し、真の幸福を見失っているのです。

1987年3月30日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume20/ss20-06.pdf>

人々は自分自身の内にある幸福の源や泉を知りません。人々は、ファッションや嗜好、興奮を呼ぶものやエンターテイメントといった幻を追いかけることで幸福をたっぷりとすぐに得ることができると思っています。あなたは目撃者であり、情景とは別のものです。あなたは見る者(ドラシタ)であり、見られる者(ドルクあるいはドルシャ)ではありません。

1961年10月10日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume02/ss02-15.pdf>

人々は、仕事や結婚や財産や子孫の中にこの至福があると想像します。そうではありません。あなた方は、手当たり次第に、教育や仕事や結婚や子供などの中に幸福を期待します。しかし幸福はあなたを避けて通ります。永続する幸福は、神と一つになることによって、初めて得られるのです。

1996年1月18日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume29/ss29-04.pdf>

この世界では、物質的な物ごとに対する欲望が尽きることはありません。欲望を取り除くためには、己の心を神に向けなければなりません。それが満足と永続的な至福に到達する方法です。

1988年4月16日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume21/ss21-11.pdf>

私たちの行動は、自分にも他人にも幸福をもたらすものでなければなりません。私たちはまず、真の幸福とは何か、不幸とは何かを問う必要があります。人々は、満腹になるまで食べて、ぐっすり眠ることが幸福だと考えています。それはまったく幸福などではありません。一生懸命働き、社会に奉仕することの中に、幸福はあります。貧者や困窮者を助ける時に初めて、平安と幸福を体験できるのです。...今日では、困難を求める人は一人もいません。誰もが幸福を切望しています。幸福はどこにあるのでしょうか？あらゆる場所にあります。私たちはそれを体験するにふさわしい存在となる必要があります。

2003年4月15日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume36/ss36-09.pdf>

いつもあなたと共に、あなたの中に、あなたの周りに、あなたの上に、下にいるものは、ただ一つだけであり、それは至福です。至福には姿形がありません。

2002年5月23日の御講話

<http://sssbpt.info/summershowers/ss2002/ss2002d09.pdf>

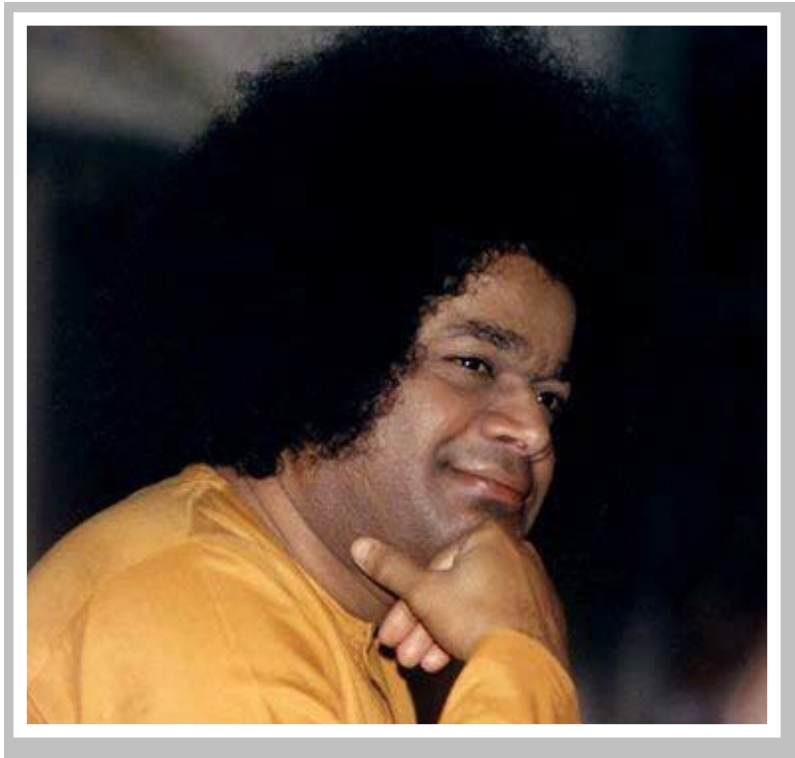
真の幸福はあなた自身のハートの中にあります。そのことを悟りなさい。

2003年1月14日の御講話

<http://sssbpt.info/ssspeaks/volume36/ss36-02.pdf>

質 問

- 真の幸福はどこで見つかるのでしょうか？
- 苦しみの原因は何でしょうか？
- 何が私たちに真の幸福をもたらすのでしょうか？
- もし私たちが自分の中で幸福を体験しているのであれば、なぜ自分の外に幸福を求めるのでしょうか？
- なぜ私たちは、世俗の中で真の幸福を見出すことができないのでしょうか？
- どのようにしたら、幸福が真我顕現へとつながるのでしょうか？



©2020 Sathya Sai International Organization,

All Rights Reserved 不許複製

sathyasai.org